

なのhana たより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. 98

January 2020

秀眉園 デイサービスセンターこゆず 「富田さとわに耕園 インド人技能実習生と共に」



INDEX

1
2
トレンドTOPIX 潮流
（ニュースウォッチ）

台風被害の状況と
対策について

フォーカス「老健ちば」

これからの災害対策について

3
4
〈特集〉

令和元年度研究事例発表大会

5
6
〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

市川は自然と文化の融合都市
老健施設の在り方

介護老人保健施設サンシルバー市川
リハビリテーション部 部長 千葉 真介



7
〈なのhanaスマイル〉施設の笑顔紹介

● 総和苑

● サンセール市川

〈老健ちばカレンダー〉
〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

2020年1月21日 発行

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

各施設で日頃から
災害の対策を
検討しておくこと
が重要である。



ニ
ユ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

台風被害の状況と対策について



昨年、12月に行われた事例研究発表大会にて、昨年千葉県を襲った、台風15号、19号、21号の被害に遭われた三施設の方々から被災体験をお話し頂き、シンポジウム形式で状況の共有と対策を検討いたしました。

【登壇者】
はつらつりハビリセンター（千葉市若葉区） 福田施設長
クレイン（市原市） 三好事務長
赤門なのはな館みさき・なぎさ（館山市） 若林支援相談員

福田氏…15号の時は9月9日～5日間の停電を体験。キーワードは3つ。「水」「インカム」「ライン」

「水」幸いにも屋上に発電機があり水の供給ができた。トイレもバケツの水1杯で流すことができた。

「インカム」停電によりナースコールの使用ができなかったが、インカム（12台）を導入していたので対応できた。

「ライン」電話もパソコンも使用できない状態だったが、屋上で携帯ラインが使用でき、市原や館山の生の情報が共有できた。

三好氏…15号では、停電、雨漏りを体験。情報が入手できない不安が大きかった。

19号では強風による外壁損傷。また帰宅できないスタッフもいた。

若林氏…9月12日まで、停電、断水。非常用発電機を使用し食事提供。デイケア休止、9月13日～再開。

21号の時は、定員を14名超過で緊急シフトステイの受け入れを行った。

会場…つくも苑鈴木氏より、窓ガラスが割れ、思いの外広範囲にガラスが飛散した。フィルム等の対策が必要。また、スタッフが施設内に泊まれる場所を検討しておくことよ。

—まとめ—
・発電機を何処に使用できるか確認

（厨房の炊飯器に発電機を使えばお米が炊ける等）

・電源車を呼ぶ為に施設の「皮相電力（KVA）」を調査する

・ガソリンは半分に減ったら満タンにしておくルールにした

・太陽電池のライトは有効

・車の電気の有効利用（シガーライターにて充電）

・LINEの活用（他施設や地域の情報を共有）

・インカムが有効（ナースコールが使えない時の災害時の為に日常で使用）

・緊急受入れによるシフトの利用増

・合併浄化槽は停電では機能しない

・熊本地震の資料より、孤立したら「SOS」、水「バスタオルを用いて屋上に書き、助けを求めている」

・写真を撮っておくと文章や言葉では伝わらない情報が残るので見直せる

最後に被災した施設はもとより、今回被災を免れた施設も日頃から災害の対策を検討しておくことが重要。また、万が一被災した場合は、利用者が不安にならない声掛けが必要になり、その為に日頃から職員同士がポジティブな言動や発想を養う事で困難がおきても共に乗りきる関係性の構築が大切になるのではないかとまとめた。

フォーカス 老健 ちば

これからの災害対策について

令和元年台風15号、19号、令和元年10月25日の大雨により被災された介護老人保健施設につきましては衷心よりお見舞い申し上げます。

当協会においては、令和元年11月7日に千葉県宛に被災した介護老人保健施設の復旧を促進するための緊急要望を行ったところです。(ホームページの「お知らせ」参照)

また、令和元年12月14日(土)の理事会においては、今後の災害対策について議論がされました。主な議論としては、愛媛県老人保健施設協議会における連絡網の整備体制を構築した状況について全国老人保健施設協会を通じて紹介され、本県においても同様の会員間連絡網整備を早急に整備する必要があるとの共通認識に達したところです。今後は災害対策を推進する組織として災害対策委員会の設置等を行い、来たる災害に備えるように体制整備を行うことを推進することとなりました。

その他の紹介された先進事例としては、埼玉県においての災害対策です。埼玉県老人保健施設協会においては、災害が発生したことを想定して毎月会員間で「安否コール」訓練を実施しており、いざ災害が発生した場合の初期出動の態勢を整えています。当協会としましても、災害対策の

体制整備に当たっては、まずは会員施設自らが施設においてBCP(事業継続計画)の策定を行っているかなどを確認する必要があります。

介護老人保健施設は地域の災害福祉避難所防災拠点であり、福祉施設であると同時に独立した施設でもあるため、自力で生き残らなければなりませんので、BCP(事業継続計画)を策定し、危機管理マネジメントとしての防災対策とBCPを同時に実行することが求められます。

また、防災に関する専門機関による研修会の実施や災害対策について先進的な取組みをしている老人保健施設協会の事例を視察して参考にするなど本県の実情に則した方法を研究して実効性のある体制を整備する必要があります。

行政の動向としては、千葉県において、災害福祉広域支援ネットワークを令和2年3月末までに構築することになっており、当協会からも災害派遣福祉チームに参加し、災害時の支援を行うことが要請されております。

現在、広報委員長等が県の災害関係の会議やセミナー、ワーキンググループに参加して他介護関係施設や行政機関との連絡調整を行っているところです。

以上のような介護老人保健施設を取り巻く災害関係対策の状況ですが、今後さらに具体化がされていくと思われまますので会員の皆さんの積極的な参加をよろしく願っています。

令和
元年度

研究事例発表大会

令和元年12月9日ホテルポートプラザちばを会場に、研究事例発表大会が開催されました。

会員施設からは約80名、本年も介護福祉学科の学生の参加がありました。

21の演題発表があり、活発な議論がされました。

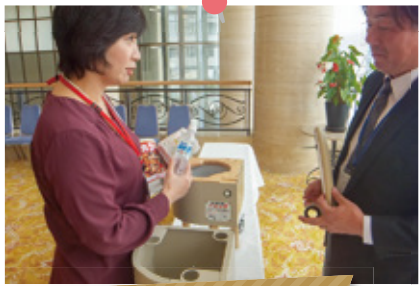
千葉県では台風15号・19号・21号に伴う大雨で甚大な被害が発生した事を受け、

ロビーには防災用品展示コーナーを設けました。多くの参加者が強い関心を示していました。

また、被害を受けた施設から状況報告があり、参加者と情報交換しました。

最優秀賞・優秀賞演題の表彰があり、総座長を務められた

ロータスケアセンター副施設長の川端心氏より総評を頂き、閉会致しました。



ロビーでは便利な
防災用品が展示されていました



被害状況と対応について報告がありました



研究事例発表大会 表彰式

受賞された方々に
インタビューしましたので
ご紹介いたします



今回、最優秀賞という素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。

人手が少ない中で始めた転倒事故に対する取り組みでしたが、職員が各々の専門性を発揮し、職種間の壁を取り払い、一人の利用者様に対し同じ方向を向いて取り組んでいく。



最優秀賞

介護老人保健施設
ハートビレッジ

鈴木尚子(理学療法士・写真右)

簡単なようで難しいこの課題にこれからも挑戦し、より良い施設づくりへ繋げていきたいと思えます。

最後に、一緒に取り組んでいるハートビレッジの職員の皆様に心より感謝いたします。

ありがとう！

研究事例発表大会 表彰式

受賞された方々に
インタビューしましたので
ご紹介いたします



今回初めて参加させて頂いたこの大会でダウン症男性の入所を通じて、障害者制度と介護保険制度の共存の難しさを学んだ事例を発表しました。介護老人保健施設の支援相談員として、介護保険制度だけではなく、障害者制度を



優秀賞

介護老人保健施設
フェルマータ船橋

能登昭子(支援相談員・写真左)

初め、様々な制度を理解し利用者様・ご家族様を支援していく事がこれからの時代には必要不可欠と痛感しています。今まで以上に多くの利用者様・ご家族様を支えられる支援相談員を目指して行きたいと思っています。



今回、このような素晴らしい賞を頂きありがとうございます。

今、世の中は少子高齢化、単独世帯増加、利用者の重度化という問題に直面しています。そのような中で、在宅復帰を推し進めた



優秀賞

介護老人保健施設
ハートケア流山

長井久美子(介護職・写真中央)

場合、受け入れる介護者は何も解らず右往左往するしかないのではないのでしょうか

私達はその様な方々の手助けになれる様な地域を創る為に貢献して行きたいと思っています。



研修会参加最多施設表彰

介護老人保健施設 **光荣館**

おめでとうございます!



研・修・会・報・告

当初予定をしております各研修会ですが、台風15号、台風19号及び10月25日の大雨の被害の為、11月に日程を調整して研修会を行いました。

相談援助技術研修会

令和元年11月11日(月) ホテルポートプラザにて相談援助技術研修会が行われ、支援相談員やケアマネジャー、看護師や介護士の方々が総勢37施設、47名の参加がありました。

講師は株式会社チームウェル代表取締役副社長の遠藤恵子氏をお招きし、「共感的理解が仕事を楽にする」(利用者・家族・関係機関)に対する「陰性感情をもつ体験からの倫理的葛藤」について講義をいただきました。



この研修は、起きている現象を客観的に理解することができ、様々な場面での悩みを判断できるようになり、ストレス無く仕事を行い、論理的な判断基準のみならず、状況に適合する指針を持つて考えることができることを目的に講義をいただきました。

まず、なぜ怒りを感じるのか？そしてなぜ怒るのか？人間は相手の反応が自分以上に期待している範囲から逸脱した時に人は怒ることが多く、人間の経験する様々な感情について陰性感情の伴ったケアの場面や対処と変化について話がありました。次に倫理とは何か？実践における倫理的な対立とは何か？倫理的なジレンマへの対応など学び、発達障がいを抱えるケースやちよつと困ったケースなど、参加者自身が経験したケースをグ

ループワークで話し合いました。今回の研修は専門職が起きた事象に対し相手の立場を考え共感的理解をする。そして言葉遣いや話し合いといった共感的対応を学びました。

参加者の感想



オレンジガーデン・ケアセンター 支援相談員 久保田 涼子

支援相談員は、施設利用の案内から始まり退所の調整に至るまで、ご利用者・ご家族・関連機関と多くの話し合いの場を持ちますが、時として、意図しなかった相手の反応に戸惑うことがありました。今回の研修では、戸惑いから生まれる自身の感情は言語化して明確にすべきということや、他者の怒りや恐れ・混乱をあたかも自分自身のものかのように感じるという、共感的理解を生み出すことについて学ぶことが出来ました。『少しだけ』かもしれないが、相手のことを理解できるようにになった『気がする』と思えるようになれば、多様な人と対面する自分が今よりも少し丸くなるかもしれないと感じ、明日からの業務に励もうと前を向くことが出来ました。

レクリエーション研修会

令和元年11月18日(月) 京成ホテルミラマール千葉にてレクリエーション研修会が行われ、介護福祉士を始め作業療法士や事務職の方々が総勢28施設、41名が参加されました。

講師は東京都福祉レクリエーション・ネットワーク事務局長で東京都レクリエーション協会公認講師の松村節子氏と東京都福祉レクリエーション・ネットワーキングセミナー担当理事で東京都レクリエーション協会公認講師・研修委員会委員の湯川恵子氏のお二人をお招きしました。この研修は、フレイユ(歳をとって心身の活力が低下する状態)や誤嚥、認知機能低下を予防・改善する活動をレクリエーションの実践を通して学ぶことと、利用者様とコミュニケーション、ホスピタリティを豊かにする方法を学ぶことを目的とした。



午前は松村先生の講義で、笑う事はとても大切である。その為に人生100年を楽しく過ごすには何が大切なのかを平均寿命・平均余命・健康寿命を分析しながらお話しくださいました。次にPPK運動(ピンピンコロリ)とは何か？健康寿命を伸ばすには「フレイユ」や「MCI(軽度認知症)」などが重要であり、誤嚥予防の為に体操やコミュニケーションを図る方法など具体的にお話し下さいました。

午後は、湯川先生による「みんなで楽しむ実技にて懐かしの歌(北国の春、憧れのハワイ航路、おとみさんなど)を笑顔で歌いながらリズムに合わせて体を動かすレクを行いました。その後はグループワークでも活気ある研修でした。

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。

URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL. 048-257-2948

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー

福祉車両のどんなことでも
INGENIOUS インジニアス株式会社
〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

市川は自然と文化の融合都市 老健施設の在り方

介護老人保健施設 サンシルバー市川

リハビリテーション部 部長 千葉 真介

当施設は市川市内の北部に位置し、周囲が比較的自然に囲まれ緑豊かな環境とボランティアによる文化交流として、和太鼓や日本舞踊・クラシックコンサートや近隣幼稚園と高齢者とのふれあい・高校生のプラスチックバンド等のご協力を得て、入所・通所リハのご利用者様の方に親しまれ、穏やかな施設内生活と活気ある施設内行事を取り入れながら地域に密着した施設を継続しています。

当施設は平成17年4月より開設し、施設の基本方針・理念に基づいて、『利他の精神及びご利用者様の安全、尊敬、個性、可能性、希望』をもとに各部署職員が一丸となり、ご利用者様への質の高い介護サービスの提供に日々努力しております。

当施設のリハビリテーションの強みは1対1の気持ちと心の通ったリハビリテーションを提供し、「顔と顔、目と目」を合わせその日のご利用者様の様子や会話、不安などを確認しながらも1人1人それぞれに合ったリハビリテーションプログラムを立案



し、提供できる体制を整えております。また、当施設の顔となるアプローチから玄関は広々として明るく、介護職員の笑顔と会話でデイケアの利用者やショートステイで来られる方々は活気があり「ここは玄関もお客さん(ご利用者様)も職員も明るいね」と言ってもらえます。また、栄養課が作る食事に関しても「ここはとてもおいしいので全部食べちゃうよ」と嬉しそうに話される方もいらつしゃいます。

当施設である介護老人保健施設は医療分野と介護分野の各職種の協力をもとに『医療と介護の融合』はまさに市川市の『自然と文化の融合』に近似するものであると思えます。今年、東京オリンピックも控え日本全体が盛り上がる年になると予想され、当施設も施設内全体の盛り上がりを目指して今年1年も励んでいきたいと思えます。

研修・会・報・告

感染症研修会

令和元年10月3日(木)ホテルポートラザらばにて感染症研修会が行われ、他職種の方が総勢40施設、60名参加されました。

講師は千葉県循環器病センター医療安全管理室の大塚モエミ氏、千葉市立青葉病院感染対策室の鈴木美保氏、千葉県がんセンター感染対策推進室の前田佐知子氏をお招きしました。今回の研修目的は感染症に対する基本的な知識や技術の確認と習得でした。

講義は、高齢者に多い感染症と疾患別(インフルエンザ・感染性胃腸炎・疥癬・結核)の対策や認知症の方の感染症対策や基本手技の確認等を行いました。またグループワークでは自施設の感染対策の取り組みや他施設での感染事例と感染対策など活気ある研修会となりました。

エンドオブライフケア研修会

令和元年11月16日(土)ホテルポートラザらばにてエンドオブライフケア研修会が行われ、総勢26施設43名の方々が参加されました。

講師は亀田医療大学看護学部看護学科講師で亀田総合病院非常勤看護師・緩和ケア認定看護師の千葉恵子氏をお招きしました。

この研修目的は、①もしもの時の話し合い(アドバンス・ケア・プランニング「人生会議」について)②終末期のこころとからだの変化に対するケアでした。

午前はACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは何か?ACP(安房)の活動や取り組み、バナカードを使ったゲームなどを行いました。午後は、医療における意思決定のDVDを鑑賞しグループワークを行いました。

アルクリンピュアで冬のウイルス&細菌対策!

第三代 次亜塩素酸ナトリウム単一製剤

衛生管理に

感染対策に

ニオイ除去に

無料お試しキャンペーン!

約2週間 じっくりお試し

50ppm5L 製剤

好評です!

NEW!

医療現場のための除菌・消臭剤

空間噴霧で浮遊ウイルスを除去!

肌に触れてもOK! からだに優しい

ディールームや談話室など人が集まる場所の空間除菌におすすめ!

岩淵薬品株式会社

千葉県船橋市本中山4-14-1

お気軽にお問い合わせください! **047-374-3009**

(平日 8:30~17:30)

なののはな スマイル

明るく! 元気!
施設の笑顔をご紹介します!



■ 総和苑

総和苑では、「生活の楽しさを思い出す・覚え続ける」ことをモットーとして、自分で出来る事を施設でも積極的に出来るように、食事の下膳や飲み物の用意などを自分自身で出来る環境を整えています。そうする事で利用者様方の協調性やコミュニティが生まれ、私たちもやりがいを感じています。

住 所：千葉市緑区高田町1084
電 話：043-291-8211
開設日：平成10年6月3日
入 所：100名
通 所：50名

利用者様と共に
作り上げた目的を
達成した時に、
仕事のやりがいを感じます!

●総和苑
介護福祉士
白鳥裕子



■ サンセール市川

サンセール市川は、ご利用者皆様が幸せを感じられるよう、笑顔絶やさず心寄せ合い、在宅復帰を目標に夢や希望を叶えるお手伝いを、職員一同で日々取り組んでいます。

職員は知識・技術の向上に努め、自身の夢も叶うような施設を目指しております。

住 所：市川市原木2-13-8
電 話：047-325-9367
開設日：平成29年8月
入 所：100名
通 所：20名

和気あいあいと、
自然に笑顔になれる職場です。
利用者様に居心地が良いと
感じて頂けるよう奮闘中です!



●サンセール市川
介護士 熊谷 奈津子(左)
介護福祉士 岡田 香緒里(中)
介護福祉士 青木 友美(右)



老健ちばカレンダー

1月20日(月)

●管理者研修会<京成ホテルミラマーレ>

1月23日(木)

●高齢者の栄養と食事研修会

●編集後記

●昨年千葉県は、台風、大雨被害で多くの施設が被災しました。事例発表大会では、貴重な被災体験を聞かせていただき、この体験を無駄にせず対策できたらと思います(坂本)

●新年、明けましておめでとうございます。年号が変わり、初めての年明けになりますね。昨年、千葉県は台風被害が大きく全国的にも自然災害が多くあった年だと思いました。今年は「施設内災害強化」を目標とした年にしていて考えています。本年もよろしくお祈り致します(安達)

●昨年は元号も変わり、元号の由来を知ることで日本の歴史を振り返ることもできました。明暗の変化の大きい時代に合わせて、元号を見直すルールも新たに見直されたいなと感じています。新たな年を迎え心機一転よろしくお祈り致します(鈴木)

●新たな年になりました。昨年一番印象に残った出来事はやはり台風被害でした。まだまだ大変な地域もございますが、今年は年男! 頑張ってください(神作)

●「斎藤さん。まだまだ引退なんて、駄目ですよ。100号まではビシッとね。」ってお願いしたのに。残念でなりません。沢山お世話になりました。ありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます(若林)

●いよいよ2020年になりました。昨年は災害等も踏まえ変化のある年でした。今年はオリンピックもあり、日本にとって更に大きな変革期になると感じております。そんな中、願う事はこの編集後記まで読んで頂いている方々へ「今年も皆様が素晴らしい1年でありますように!」(福田)

なののはなだよりを創刊から20年以上にわたり広報委員長を務められた、斎藤進様が先月永眠されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。